

蚕（エリ・カイコ）飼育農業をエチオピアで始めよう

（社）アフリカ開発協会企画及び実施（日本エチオピア協会協力）

藤山 辰次

アフリカ開発協会の川原専務理事が、小生の事務所に蚕の卵を持って来られた。手に取って見ると、まるで黒ゴマのような色で小さい。この小さな蚕の卵はアフリカの人々に計り知れない恩恵をもたらす。この卵は、仕事の機会を提供し、女性の地位向上を計り、また緑化にも貢献出来るのです。

ご存知の通り、エチオピアのGNPは約100ドルで、女性に対する職業は少なく社会的地位も低い。男性依存率も高くその多くは若年層で結婚をし、出生率は記録的な勢いで増えています。貧困と無職、そして人口の増加。何かこれに対応して役立つものは無いものか？

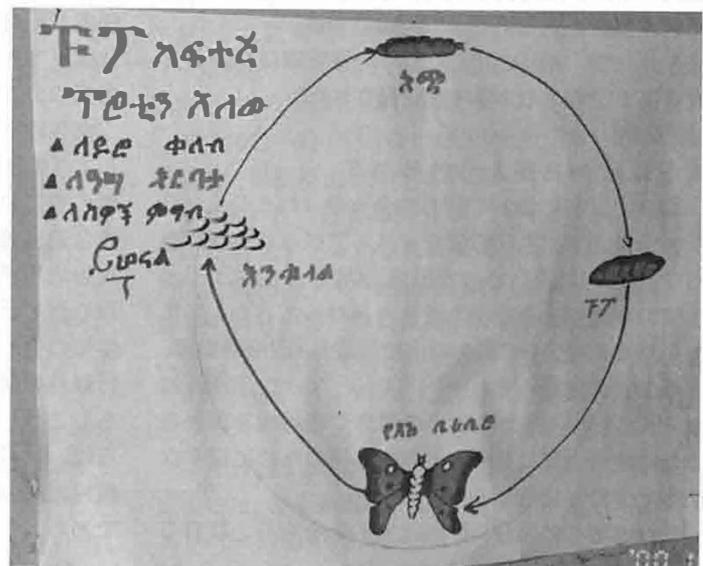
エリ蚕飼育農業はまさしく高度な技術を必要としない地方の主婦でも始められる相応しいプロジェクトと思われます。まず最初に蚕の成長サイクルを見てみたいと思います。繭の段階で絹糸をとるコース(A)と卵を増やすコース(B)に分かれます。

- 蚕の卵 ~ 孵化する ~ 幼虫
 になる ~ 成虫になる ~
 A) 繭を作る ~ 絹糸に紡ぐ ~
 製品にする
 B) 繭を作る ~ 蛾になる ~
 卵を産む

このプロジェクトの成功に欠かせない一つは、蚕の飼料葉の確保にあります。従来の日本の蚕は、桑の葉を主食とする蚕の種類で年一度の繭の生産ですが、エリ蚕はキャッサバ、

ナンキン、ハゼ、シンジュ等の飼料樹の葉を食べ、摂氏24-25度の温度下では5-6回の収穫が出来るそうです。キャッサバは多くのアフリカ諸国で栽培されており、エチオピアにもあります。キャッサバ以外にエチオピアにとって新種と思われるハゼとシンジュの植栽をする為、その種を既にエチオピアに送り発芽の確認をしました。

それではエリ蚕飼育農業の収入はどうなっているのか？吉田博士(Dr. Akihiko Yoshida)がベトナムで行った調査によると山岳地帯の1夫婦が3ヘクタールの土地でキャッサバの餌を基に6ヶ月で、2,150ドルの収入をあげました。適温地域(23-24度)で飼育された場合、すくなくみつもって年間に3収穫を行えば、単純計算で、6,450ドルの収入になります。





このプロジェクトをぜひともエチオピアに実現したく、旅行会社及び貿易会社を営む25年来のエチオピア人の友人に相談し、エリ蚕の卵を100個送りました。残念ながらエチオピア南部の『ナザレス農業研究所』に運ばれるまでに10日間もかかり、ビニール袋に入った卵は酸素不足と熱で全滅してしまいました。6ヶ月後、また100個送り今回は50個が生き残り、現在エリ蚕が劇的に増殖しております。

と言う訳で、アフリカ開発協会を中心とした『エチオピア エリ蚕飼育農業調査団』が2000年10月11日よりアジスアベバを訪問しました。同プロジェクトには、日本エチオピア協会も協力しており、小生はエチオピア協会の理事としてまた調査団の団長として参加しました。

エチオピア農業研究所、日本大使館、現地協力コンサルタント等、プロジェクト推進のための活動をおこないました。またその後日本エチオピア協会エチオピア訪問団(吉沢欣一会長・宮田治事務局長)に同行し既にエリ蚕卵が成功裏に絹糸に迄量産されている、アジスアベバ南方120km(ナザレ地区)のメルカサ農業研究所を訪問し、養蚕に関する説明、質疑応答及び現場検証を行いました。

現在、エチオピア産絹糸が5キロまで生産され日本で加工される予定になっております。これからの課題は品質の維持とエチオピア全土での飼育展開をいかに行うか、また販売市場開発の問題があります。国内消費(シャンマとして)、空港及びエチオピ

ア航空での機内販売、他国への輸出品として、原価がベトナム産の約半分位であると言われておりますので競争力は充分にあると思われま

す。繰り返し最後にエリ蚕飼育農業の特典を列記したいと思います。

1. 現金収入をもたらす
2. 女性の地位向上促進
3. 飼料植
4. 物による緑化促進
5. 余剰サナギは20%のプロテインを含む高タンパク質を提供(飼料等に使用)
6. 絹製品輸出による外貨獲得
7. 軽量のため輸送が簡単便利
8. エチオピアから他アフリカ諸国に技術移転を行う

新養蚕事業を推進するためエチオピア現地のNGOを中心に「エチオピア養蚕協会」設立に向け現在支援をしております。将来はコーヒー事業に匹敵する「エチオピア・シルク」誕生に期待をします。みなさんのご支援をお願いします。

(ふじやま たつじ エチオピア国営航空)

編集部注；

この記事は2001年3月発行の前号(第10号)に掲載される予定でしたが、編集上の手違いにより1号遅れとなってしまいました。執筆者ならびに読者のみなさまにお詫びいたします。